

## 松澤宥生誕 100 年祭閉幕のご報告

「松澤宥生誕 100 年祭」は 2022 年 1 月 29 日（土）から 52 日間の開催日数を経て 3 月 21 日（月・祝）に閉幕致しました。

本展は、惜しめない連携・ご協力をいただいた一般財団法人松澤宥ブサイの部屋、長野県立美術館はじめ、会場をご提供いただいた下諏訪町立諏訪湖博物館・赤彦記念館や下諏訪町内外の店舗・施設、下諏訪商工会議所、クラウドファンディングにご寄付いただきました皆さま、開催を暖かく見守ってくださった町の皆さまなど、様々な機関、個人のサポートのもと無事に終了することができました。以下実施実績を発表するとともに、ご来場いただいた皆さま、並びに関係各位に改めて感謝申し上げます。

### 「松澤宥生誕 100 年祭」開催概要・実績

会期：2022 年 1 月 29 日（土）～3 月 21 日（月・祝）  
会期日数：52 日間 述べ動員数：約 3,500 名

#### まちなか展覧会

- ・ 諏訪湖博物館・赤彦記念館（メイン会場）述べ動員数：1178 名（同館調べ）
- ・ まちなか会場：10 箇所（御宿まるや/ マスヤゲストハウス/ すみれ洋裁店/ ninjinsan / Café Tac / Eric's Kitchen / UMI COFFEE & LAUNDRY / ぎん月 / 青木英侃邸 / ゆめひろ）  
述べ動員数：約 2,000 名

#### イベント

- ・ 開催件数：4 件
  - アーティストになってみよう！ーブサイ郵便局ワークショップ 2021… 2021 年 11 月 3 日（水・祝）
  - サウンドインスタレーション & パフォーマンス「22 の音素による音会幻想」…2022 年 2 月 20 日（日）
  - トークイベント①「松澤宥ってどんな人？」…2022 年 3 月 5 日（土）
  - トークイベント②「諏訪と松澤」…2022 年 3 月 13 日（日）
- ・ 述べ動員数：約 600 名

#### チラシ・ポスター等広報制作物

- ハガキサイズチラシ：7,000 部
- A3 リーフレット：4,000 部
- A2 リーフレット：1,500 部
- B4 ポスター：100 部
- B2 ポスター：100 部

#### 松澤宥 生誕 100 年祭ホームページ

「松澤宥ってどんな人？」：[www.matsuzawayutaka.jp](http://www.matsuzawayutaka.jp)  
Instagram [@matsuzawayutaka](https://www.instagram.com/matsuzawayutaka) Facebook [@matsuzawayutaka.100](https://www.facebook.com/matsuzawayutaka.100)

主催：Suwa-Animism（スワニミズム）美術部  
助成：長野県地域発 元気作り支援金  
特別協力：一般財団法人松澤宥ブサイの部屋、長野県立美術館  
協力：長野県諏訪清陵高等学校 / かとう食堂  
後援：長野県、下諏訪町、下諏訪商工会議所

#### ● 会期・集客数について

当初は 2 週間程度の会期を予定していた「まちなか展覧会」は好評につき、メイン会場である諏訪湖博物館・赤彦記念館同様 3 月 21 日まで大幅に会期を延長した。コロナ禍での開催とあって、会期の半分以上がまん延防止等重点措置（2022 年 1 月 27 日～3 月 6 日まで）期間と重なったにも関わらず、博物館には述べ 1178 名（同館調べ）の方々が全国から訪れた。参加施設の店舗からは当イベントをき

「松澤宥生誕 100 年祭」に関する問い合わせ：

広報担当：那波・西谷（リレーリレー） [info@relayrelay.net](mailto:info@relayrelay.net) / 090-8565-9161

かけに、来店者が確実に増えた、客層が地域内外へ広がった、など好意的な意見が多く寄せられた。これは同時期に開催していた長野県立美術館の回顧展、松本建築芸術祭、マツモトアートセンターでの催しが互いに告知協力し合い長野県全体で松澤宥の生誕 100 年を契機とした動きが作れたことが一因と考える。また各所が展示情報を共有しあい、互いの展示内容の棲み分けを明確にできたことで、複数催事のハシゴ鑑賞需要を創出できた。

#### ● イベントについて

2021 年 11 月に行ったプレイベント「プサイ郵便局ワークショップ 2021」では 200 組以上、述べ約 500 名が参加。100 年祭会期中はパフォーマンスイベントを 1 回、トークイベントを 2 回行ったが、いずれも満席となり内容も興味深かったと大変好評だった。そのほか、毎週末にスワニズム・美術部のメンバーによるガイドツアーを開催し、松澤宥についての理解を促すよう努めた。

#### ● 広報について

・掲載数合計：35 件（当会調べ。内地元メディア：22 件、アートメディア：13 件）

地元メディア向けに行った長野県立美術館との合同プレス説明会では、美術館学芸員とともに松澤宥についてレクチャーを行い、理解を深めてもらう機会を設けた。結果的に地元記者のファンも増え、多数掲載いただいた。また、有力美術メディアを招聘しプレスツアーを開催することで、ネットで大きく報道され、SNS でも拡散、全国から多くの美術関係者やアートファンが訪れるきっかけを創出することができた。

広報制作物については配架店舗や施設に配慮し、デザインやサイズバリエーションを持たせて作成、好評を博した。ほか、下諏訪商工会議所ご協力により、バナーやフラッグ、ポスターが町中を彩り、100 年祭ムードを盛り上げた。

#### ● コロナ対策について

博物館展示について国、県から指導されたガイドラインの遵守を徹底。また、イベントは事前予約制とし、参加者を制限するなどの対策を講じ開催した結果、現時点での感染報告は受けていない。

#### ● 効果について

・町の方からは、「こんなにすごい方がこの町にいたなんて知らなかった。この展示を機会に興味や理解が深まった」など多くの好意的なご意見をいただいた。また、展示を見られなかった方への認知も、各種報道や、町中に掲出のバナーやポスターを通して向上しているように感じた。

・鑑賞者は松澤宥の活動や作品を通じ、諏訪大社、御柱祭や御神渡り、フォッサマグナなどこの土地特有の地理や歴史、文化に触れることとなり、地域の魅力を PR することにつながった。また、リーフレットを片手に町歩きを楽しむ方からは「100 年祭鑑賞目的で訪れたが、こんなに素敵な町だとは思わなかった。今度は家族でゆっくり訪れたい」などの感想も届いた。

・コロナ禍での開催ではあったが、会場となった全店舗、施設からは客層が広がり、来店者数が確実に増加した、次回があるならばまた参加したいとの声があり、経済的にもそれなりに貢献できたのではないかと考える。

#### ● クラウドファンディングについて

クラウドファンディングサイト READYFOR を通じて 2 月 5 日より協力を募っていたが、3 月 6 日に当初の目標金額 120 万円を達成。ネクストゴール 200 万円にチャレンジし、総額 1,413,323 円（達成率 117%）のご支援をいただいた。

#### ● 今後の活動について

引き続き、松澤宥の功績を地元で顕彰、共有しながら、下諏訪町内に常設展示場を設立することを検討していただくべく、地域内外に働きかけを行う。

---

「松澤宥生誕 100 年祭」に関する問い合わせ：

広報担当：那波・西谷（リレーリレー） [info@relayrelay.net](mailto:info@relayrelay.net) / 090-8565-9161